

Chapel Times

守谷聖書教会チャペルタイムス No. 40 (2015年秋号)

ねえ おまわりさん

おまわりさん

「僕は話しかける
僕の心をだれか変えてください
子どもの頃のような新鮮な心にと
おまわりさん
あなたは道を教えてくれるやさしい人ですね
心を取り変えてくれる病院は どこにありますか
え ないんですか そうですか ないんですか」
購入した古本に挟まれていた一枚のメモ書きです。

苦しみの中で

私たちは、日々の歩みの中で、喜びや感謝とともに
苦しみや悲しみに覆われることがあります。

苦しみの中に置かれる時、「誰かがこうあ
ってくれたら」「環境が変われば」

「なぜ自分が」などと強く思います。
苦しみが深ければ深いほど、そのよう
な思いは強くなるものかもしれません。
そして、その場を離れてしまいたかった
り、その重荷を背負いきれないと思ったりします。

しかし、現実がそれを許さず、私たちは、そこで本
当に悩み、必死に一日一日を、今の現実の苦しみと明
日への恐れを抱えつつ歩んでいるのではないでしょ
うか。

すべて、疲れた人

イエス・キリストは、仰せられました。「すべて、
疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに
来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。

(聖書)」

私たちは、今、ひとりでその重荷を負っているのか
もしれません。ある人への怒りや憎しみをどうするこ

ともできず、ひとりで悩んでいるのかもしれませんが。

誰かに話して、確かに少し楽になったかもしれませんが、でも、やはりその苦しみと向き合い背負ってい
くのは、私です。

しかし、イエス・キリストは、苦しみでどうするこ
ともできず、悩み、悲しみ、疲れているそのまま、
「わたしのところに来なさい」と、今、私たちを招か
れています。遠くにおられるのではなく、私たちのす
ぐ隣におられます。

イエス・キリストは、過去の偉人ではありません。
イエス・キリストは、生きることの苦しみ、そしてそ

の根である罪から私たちを救うために、二千年
前、この地に人として来られ、私たちのす
べての罪を身代わりに背負い、十字架に
架かり、死んで下さいました。そし
て、三日後に復活され、今も生きてお
られる救い主です。

魂に安らぎが、そして人生に神の恵みが

イエス・キリストは、私たちの弱さを蔑まれません。
イエス・キリストのところにそのまま罪や重荷を抱え
て行き、イエス・キリストとともに歩いていくときに
私たちの魂に安らぎがきます。

問題そのものはなくならないかもしれませんが、そ
の苦しみや悲しみの中で、私たちを変わずに愛して
下さるイエス・キリストがともにおられ、安らぎを与
え、苦しみの渦中では分からなかった、でも振り返る
時に神の恵みに満ちていたと言うことができる人生
へと私たちを導いて下さるのです。

魂の医者、イエス・キリストがおられます。

守谷聖書教会 牧師 鈴木洋宣



“あなたの町のあなたの教会”

守谷聖書教会です！

〒302-0110

守谷市百合ヶ丘 2-4804-2

電話 0297-45-2507

<http://moriyabiblechurch.jimdo.com/>

「キリスト・イエスは、
罪人を救うためにこの世
に来られた。(聖書)」

